

平成 2 8 年度 年間授業計画

東京都立大森高等学校 定時制

科 目 名		学年	単位	総授業時数	必修・選択
国語総合		2	2	70	必修
指導目標	1 基礎・基本の徹底をはかる。 (1) 漢字の読みや書き取り、語句の意味など基礎的な国語の力を養う。 (2) 必要に応じて1年次の既習事項の学習内容の定着をはかる。 2 「わかる授業」を目指す。 生徒の興味関心を見極めて教材を吟味し、授業内容を生徒の実態に応じて変化させ、「わかる授業」を目指す。				
授業内容	第一学期	第一学期授業時数計＜24＞ ①内海隆一郎「島の少年一船」……同世代の主人公の「成長」を読み取る。 ②古文入門「枕草子」……古文を読む上で留意すべき点を理解する。 ③漢字・語句の学習……常用漢字の学習			
		(達成目標) ①文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読めるようにする。 ②古今異義語を理解し、古文を読めるようにする。 ③社会人として必要とされる常用漢字を学び、活用できるようにする。			
	第二学期	第二学期授業時数計＜28＞ ①川上弘美「ほねとたね」・・・現代女性作家の作品に触れ、短編小説に親しむ。 ②古文「伊勢物語」・・・古文を読む上で留意すべき点を理解する。 ③漢字・語句の学習……常用漢字の学習			
		(達成目標) ①文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読めるようにし、それを根拠にして物語世界について理解を深める。 ②古文に関する基本的知識を復習し、物語文学の基本を学ぶ。 ③社会人として必要とされる常用漢字を学び、活用できるようにする。			
	第三学期	第三学期授業時数計＜18＞ ①浅田次郎「鉄道員」・・・名作を読み、人間についての洞察を深める。 ②漢詩の鑑賞「静夜思」その他・・・近体詩のきまりを理解する。 ③漢字・語句の学習……常用漢字の学習			
		(達成目標) ①作者の文体の特徴をつかみ、言語感覚を磨く。 ②わが国の文学・文化に影響を与えた漢詩について理解を深める。 ③社会人として必要とされる常用漢字を学び、活用できるようにする。			
評価方法	○中間考査および期末考査における素点、課題プリントなど提出物の状況、出席状況、授業態度・取り組みなどを総合的に判断して評価する。 ○必要に応じて補習を実施し、取り組み状況を評価の際に考慮の対象とする。				
教科書	『高等学校 新編 国語総合』（第一学習社）				